

社会ニュース - 3月17日(木)21時29分

電子タグで児童の安全守れ 実験は 満足できる結果」

近畿総合通信局(大阪市)は、電子タグを利用して児童の登下校時刻や危険場所への接近を記録、保護者の携帯電話にメールで知らせるシステムの実験について「満足できる結果が得られた」とする報告書をまとめ、17日発表した。

昨年11月に発生した奈良市の小1女子誘拐殺人などの影響で、登下校中の児童の安全への懸念が高まっているが、同通信局は「実用化の参考になれば」としている。

実験は昨年10月下旬から2週間、和歌山県田辺市立の小学校で実施。約160人の児童のランドセルに電子タグを付け、玄関に読み取り機を設置。登下校時に玄関を通過した時刻を記録し、保護者の携帯にメールで知らせた。「仮想危険場所」を設定、その場所への児童の接近も記録した。

(共同通信) - 3月17日21時29分更新